

同和教育の視点に立った道徳の授業実践

今年度も「互いに認め合い、差別を許さない子どもの育成」を研究主題とし、同和教育の視点に立った道徳の授業研究を進めています。今年度は、10月19日の研究発表会に向けて毎回指導者をお招きしご指導をいただいています。1学期の実践を紹介します。

「5年生の実践」 授業者 5年担任 松本 圭 教諭
 主題 「勇気を出して、自分の気持ちを伝えよう」資料『昼休み』(愛・いのちより)

新発田市教育委員会岩村守指導主事をお招きし、今年度第1回目の校内研修として行われました。仲のよいグループにこだわり、その他の友だちを排除することや、そのときの仲間外しをされた友だちの心情を考えるを通して、決めつけなどによる排除に対して憤り、差別者に対して勇気をもって自分の思いを伝えようとする気持ちを高めることをねらいとした授業が提案されました。



「2年生の実践」 授業者 2年担任 鎌倉 洋子 教諭
 主題 「みんななかよく」資料『ぼくも入れて』(自作資料より)

住吉小学校濱田浩昭教諭をお招きし、第2回目の校内研修が行われました。ドッジボールに入れてもらえない子どものつらく悲しい気持ちを考え、仲間外しを解決するよい方法を話し合うことにより、仲間外しをしない・許さない態度を育てることをねらいとした授業が提案されました。



「4年生の実践」 授業者 4年担任 遠山 文子 教諭
 主題 「相手によって変える弱心」資料『ぼくだけどうして?』(愛・いのち)より

黒川小学校猿子栄子教諭をお招きし、第3回目の校内研修が行われました。得手不得手や性格を理由に、同じ行為に対して異なる態度をとることの不当性に気付き、それを作り出す心の弱さを克服し、差別をなくしていこうとする態度を育てることをねらいとした授業が提案されました。



児童会行事「ドリームラビットラリー2011」<6/30(木)>

ドリームエンジョイ委員会と5年生が中心となって「ファミリーのメンバーで協力し合い、楽しく活動すること」をめあてに行われました。ファミリー班ごとに、「片足バランス」「空き缶積み」「サッカーシュートゲーム」「ぞうきがけリレー」「宝さがし」「ペットボトルボーリング」「豆つかみ」「ピョンピョンジャンプ」「玉入れ」「ことばあつめ」の10カ所のゲームコーナーを回り、合計ポイントを競い合いながら楽しみました。

5年生が裏方として各ゲームコーナーを担当し全校のみんなを楽しませてくれました。集会後、各学年から書いてもらった「5年生ありがとうカード」をまとめ5年生に届けました。



<5年生ありがとうカード>



<片足バランス>



<ペットボトルボーリング>



<豆つかみ>



<サッカーシュートゲーム>



<ピョンピョンジャンプ>



<ぞうきがけリレー>

第1回元気アップ週間(7/11~15)

今年度は、よりよい生活習慣が「家庭学習の時間の確保」や「集中して学習する」など、毎日の充実した学習につながることに着目し、「朝食」「睡眠」「テレビやゲームの時間」の改善に取り組んでいます。事前に「家族でチャレンジ!元気アップカード」を家庭に持ち帰り、「毎日の生活を振り返ろう!」「がんばることをきめよう!」という2点について家族会議を開いてもらい、子どもたち一人一人が自分のめあてや約束を決めました。よくできた人には多くのポイントがもらえるようなポイント制となっています。また、おうちの方には、毎日のチェックやコメントを書いていただくなど、家族ぐるみの協力を得ています。この強調週間で身に付けた、よりよい生活習慣を夏休みにつなげていきます。